



The 恵中

自らを磨き豊かに生きる
～優しく 強く 伸びやかに～

*今年度の重点教育目標

「自ら学び ともに伝えあい 高めあう力の育成」
～「コミュニケーション力」と「挑戦心」の向上～

学校ホームページ <http://www10.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0120004>



中学生に必要な「学力」について

校長 工藤 雅人

校長の私は、日々、授業の様子を見に校舎を巡っていますが、恵庭中学校の生徒の皆さんは、毎日の授業にしっかりと取り組んでいて、その様子にとっても感心しています。もちろん、中学生ですから、その時々でいろいろな想いや感情があるのですが、私が見ている授業では、皆穏やかに、仲良くグループでの話し合いを行い、タブレット端末もスムーズに操作できていて、ICTの利活用が進んでいることを実感しています。一方で春に行ったNRT等の各種調査や学力テストの結果などを見ますと、恵庭中学校の結果はあまり良いものではなく、課題が見られることも事実といえます。

ここで、考えたいのは、中学生にとって必要な「学力」とは何か？ということですが、皆さんはどんなことが「学力」だと思っていますか？

これからの時代において、スマートフォンなどのデジタルデバイスは日常的に身に付けるものとしてますます定着すると思われます。そうしますと、教科書に書いているようなことは、正確に覚えていなくても、必要なときに検索して見たり教えてもらったりすることが可能になります。ですから、ただ知識をたくさん憶えていることの価値は低くなっていくことでしょう。では中学生に必要な「学力」とは何かということですが、それは、社会生活を送る上で課題に直面したときに、課題解決の方法を「考える」力です。考えるためには「考えるのに必要な基本的な知識や技能」、「考えを深める思考力や判断力」、「考えを正しく伝える表現力」が必要となり、その根底には「自分の人生をより良くするために主体的に学びに向かう態度」を育てる必要があります。これらこそが「学力」であるといえます。そして、様々なテストや入試問題もこうしたことを見取る内容に変化してきているのが現状です。

私は、恵庭中学校の生徒の「学力」を向上させるためには、皆さんが、まずは「学力」について正しく理解し、受け身の学びではなく、「自分たちが授業をつくる」という意識を持つこと、また、授業で学んだことを確実に定着させるために「家庭での学習」を継続することだと思っています。それは進学という中学生にとって目の前にある目標についても必要な事ですが、自分自身を高め、よりよい社会人となるためにも必要なことだと思います。自分の将来に向けて学びに主体的に向かい、学習活動をはじめ、自分に関わる様々なことをマネジメントできる人になってほしいと切に願っています。

冬休みに入りますが、今述べたように、家庭での自分の生活をマネジメントすることはとても大切です。親や先生に言われたからするのではなく、自分の生活をより豊かで有意義なものにするために、目標をもって過ごして下さい。

1月15日の登校日には、全員が元気な姿を見せて下さい。

《保護者の皆様へ》

本校では、4月から、『多様性を理解し、優しさと思いやりに溢れる学校』を目指して、教育活動を進めてきました。過日、保護者の皆様には「本校の教育活動に関するアンケート」をお願いし、多くの回答をいただきました。これからも保護者・地域の皆様からの声を大切に、職員一丸となって教育活動の充実に努めて参ります。今後ますますのご理解とご協力をお願い致します。一年間ありがとうございました。どうぞ良いお年をお迎えください。

